



## 氾濫危険水位の市野川

### 現場視察報告（重陽の日）

16：30

国道407号市野川天神橋（右岸）で、警戒ビデオ撮影する、測量業者又はビデオ会社（災害時に出動する契約会社でしょう!）の2人。



16：35

市野川天神橋（左岸）から、下流域を写真撮影。

（国）荒川上流河川事務所の水位標のトップ（頭）だけ、出ている。比企の川づくり協議会では、毎年6月この地点で一斉水質調査を実施しています。



16：35

水位標に示す値は、20.30mを示して、完全に氾濫危険水位の「20.15m」をオーバーしている模様です。

都幾川（唐子、高坂、野本）では36世帯、市野川（下松本）では32世帯の避難勧告が出たと、TVでは放映された。

隣りの新宿町・山崎町では、氾濫危険水位をオーバーし、警戒を呼び掛ける消防車が回っていました。



16:40

市野川と滑川の合流地点。  
左上が市野川で、右側からは滑川  
が合流してきます。

百穴温泉「春奈」の経営者は、内  
水氾濫を起こした溢水(いっすい)  
をポンプで、滑川に放流していま  
したが、小生はそのホースを踏み  
つけて車を走らせました。  
マガモが数羽いましたが、割愛い  
たします。



16:45

吉見百穴前の合流した市野川。  
右側の堤防(左岸)の桜並木まで、  
概ね2.0mの余裕高が見られる。  
但し、バス停留所の標高が一番低  
いと見え、余裕高は1.5m位いし  
かない。

小生の足元には、ゴミやら流木が  
流下する。



16:45

逆光に映える、旧県道27号の東  
松山橋。2~3m程の余裕高と見  
えた。まだ、疎通能力はOKだ!  
(流木など引っかかってない)。

新宿小3年生の市野川探検隊の諸  
君が、生き物調査・川あそびに興  
じた「現場」は完全に水没してし  
まっている。



16:45

百穴前の右岸堤防（階段工）には、チュウサギが避難しており、7段の階段が確認される。

1段が約0.2mだから、堤防天端（てんば）まで約1.5m以上の余裕高が認められる。左岸（吉見町側）よりも、目通りで数10cm高いのは、人家密集の為、右岸を高めに構築か？



16:55

右側の建物は、武蔵丘短期大学の校舎です。

新宿小学校6年生の学習現場へ移動する斜路から、増水現場を撮影。足元の堤防天端まで、約2.0mの余裕高です。

勿論、旧流川橋の橋脚は完全に水没しております。



17:00

手前の斜路から、高水敷へ新宿小の教材・道具を運搬する現場です。対岸（左岸）の集落は、吉見町流れ川です。

平成11年の8月14日豪雨の時は、堤防天端まで約1.0mまで水位が上がりました。今回の増水はこれよりも低く、下流で進めている引き堤工事（疎通能力向上）が、功を發揮したのだと思う。

いつれにせよ、今晚からの豪雨が続けば、堤防から越流する可能性も十分に考えられます。

**各位の注意喚起を呼び掛けます。**